

【国際大会代表選考基準】

生涯スポーツ・ベテラン委員会は以下の通り、2024年世界ベテラン選手権代表選手(個人・団体)の選出方法アジアベテランの団体メンバー選出方法について協議し、各選考方法を決定した。

この基準は、本大会(世界・アジア)の正式な要項発表等により、必要に応じて改編する場合がある

§1 世界ベテラン選手権・個人戦代表の決定方法

1) 選考対象

- ① 男・女
- ② 年齢カテゴリー A (50+) B (60+) C (70+)
- ③ 種目 フルーツ、エペ、サーブル

2) 各選考会のランキングポイント

(表1)

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9-16位	17位～	33位～
26	20	16	12	10	8	6	4	2	1	0

各選考会は同一ポイントとする。(ポイントは2023年と同じ配分)

3) ランキングポイント対象の競技会

(表2)

第1回選考会	5月3日、4日	東京)千代田 SC	男子 70+ 女子 50+
	5月11日、12日	沼津)F3BASE	男子 50+、60+ 女子 60+、70+
第2回選考会 (全日本ベテラン選手権)	6月1日、2日	福島県) NCV 福島アリーナ	全カテゴリー、種目
第3回選考会	6月22日、	東京)千代田 SC	男子 70+ 女子 50+
	6月29日、30日		男子 50+、60+ 女子 60+、70+

4) ランキングポイントの付与

上記3競技会のうち、獲得したポイントの高い2回分を合計する。

例)第1回1位(26)、第2回7位(6)、第3回5位(10)の場合は36ポイント

5) 個人戦代表の順位(ランキング)

(表3)

第1順位	(第2回選考会兼) 全日本ベテラン選手権の優勝者
第2順位以下	第1回～第3回の選考会のうち高いポイント2回分の合計とし、獲得したポイントの高い者を上位とする
同点の場合	① 第1回～第3回すべての選考会のいずれかのうち、高い順位を獲得した者を上位とする 例)A選手が4位(12)と4位(12) = 24点)B選手が6位(8)と3位(16) = 24点の場合、3位を獲得したB選手を上位とする。
ポイントも順位も同じ場合	上記①が同じ場合は全日本ベテラン選手権の上位成績とする。 全日本ベテラン選手権で獲得ポイントがなかった場合は、第3回目の成績順とする。

6) 全日本ベテラン選手権における特例(修正)

外国人選手が参加した場合、ランキングポイントは外国人選手を除いた日本人選手の順位に応じてポイントを付与する

(表4)

例)	外国籍 X	日本 A	日本 B	外国籍 Y	日本 C	日本 D	日本 E	日本 F
実際の順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ポイント	26	20	16	12	10	8	6	4
選考修正順位		1位 (代表内定)	2位		3位	4位	5位	6位
選考ポイント		26	20		16	12	10	8

7) 世界ベテラン選手権の個人戦代表(候補)4人の決定

- ① 個人戦は上記の「個人戦代表の順位(ランキング)」により決定する
- ② 辞退者が出た場合は順次、次点者を繰り上げる
- ③ なお、第3回選考会終了時点までに辞退が確定しているものは速やかに辞退する旨を届けること
生涯スポーツ・ベテラン委員会 へ
- ④ 最終確定は FJE 理事会の承認をもって、確定する。

以上

§2 世界ベテラン選手権・団体戦代表メンバーの決定方法

1) 2024 世界ベテラン選手権の団体戦の試合方法

- ① 2024 年は、男・女各種目が行われる。
- ② 【50+、60+、70+の各1名】が同じカテゴリーの選手と各試合行うリレー方式 (Max30本)
- ③ よって、交代枠を含めメンバーは 50+2名、60+2名、70+2名、計6名によって構成される。

2) 2024 世界ベテラン選手権の団体戦メンバーの決定方法(表5参照)

- ① 各種目とも当該種目の世界ベテラン選手権個人戦代表4名の中から2名を選出する。
- ② 各種目×各カテゴリーの全日本ベテラン選手権個人戦の優勝者を第1順位とする
- ③ ②の選手を除き、第2回目までに個人戦の代表権を得た者を第2順位とする。
- ④ ②③の該当者が辞退または無しの場合は「個人戦代表の順位(ランキング)」による第1順位、第2順位の者とする。
- ⑤ 上記にかかわらず、世界ベテラン選手権当該種目の個人戦で8位以内に入賞した者は、その者を第1順位とする。複数名いた場合は成績の良い順とする。同じ順位(3位)の場合は、国内ランキングを上位とする。(表6参照)

例1) 団体戦代表メンバー選出順位

(表5)

国内順位(例)		出場辞退、第2回での確定者なしの場合	
ケース1		ケース2	ケース3
第1順位	全日本ベテラン選手権優勝者 (A 選手)	⇒WVFC 辞退	WVFC 辞退
第2順位 ※1	B 選手は第1回、第2回選考会で2回とも2位になり、ポイントの獲得によって個人戦の代表権が確定	↓ 第1順位	↓ 確定者無しの場合
第3順位	個人戦ランキングポイント順位	↓ 以下第2順位～第4順位	↓ 以下、第1順位～第4順位
第4順位	個人戦ランキングポイント順位		
以下同様	(繰り上げ出場者ありの場合)		
	(繰り上げ出場者ありの場合)		

【補足説明】例※1

B 選手は第1回で2位、第2回で2位となり、出場権を獲得したので3回目は出場しなかった。最終的な獲得ポイントは3位以下となる場合もあるが、2回目までに決定したA選手の実力は高いと評価し、第2順位とした。

【補足説明】WVFC 本大会で8位以内に入賞した選手がいた場合の例(表6)

例)	基本		ケース1		ケース2	
	国内順位		WVFC 成績		WVFC 成績	
A 選手	1位	①	8位		1位	①
B 選手	2位	②	12位		8位	
C 選手	3位		3位	①	3位	②
D 選手	4位		5位	②	3位	

3) 特例

現地の状況により、以下の通りになる場合がある

- ① 個人戦終了前に、DT よりオーダー表の提出を求められる場合がある。
その場合は、国内第1順位、第2順位者を団体戦のメンバーとする。
- ② 個人の体調不良等により辞退者が出た場合は、チーム間で相談し、メンバーを変更する。
- ③ 当該種目のメンバーに不足があった場合は、他の種目の選手をメンバーに加える場合がある。
- ④ その他、状況により柔軟に対応すること。

以上

§3 アジアベテラン選手権団体戦

アジアベテラン選手権は、これまで日本チームが個人・団体とも上位を占めることが多かったが、近年、他国のレベルが急激に上がっている。2019年の大会では団体戦男女6種目で金メダルは1種目であり、2024年度も厳しい状況であることが予想される。よって、前回の「希望者でチームを組んで複数応募の場合は抽選とする」を改め、より戦えるチーム編成をすべく団体戦メンバーの選考会を行う。

1) 個人戦について(要項未確認につき推定)

- ① 男子40歳以上、女子35歳以上
- ② 参加希望による参加できる。所定の手続きを行う

2) 2024 アジアベテラン選手権の団体戦の試合方法(要項未確認につき推定)

- ① 男・女の各種目
- ② 各チーム3名による総当たり、45本リレー方式
- ③ 交代枠を含めチームは4名によって構成される
- ④ 団体戦出場枠は男・女×各種目とも各国2チームまで

3) 2024 アジアベテラン選手権の団体戦メンバーの決定方法

- ① 6月に実施する2024年全日本ベテラン選手権個人戦の成績順位に従い団体戦代表メンバーを選出する。

※なお、アジアベテラン選手権の年齢制限が、男子の場合は40+となると思われる。その場合、年齢に満たない選手は、全日本ベテラン選手権の成績が上位であっても、代表からは除外される。

- ② 団体戦のメンバーの決定方法 (各国の出場枠が2チームの場合)

各種目とも(原則として)(表7)

第1チーム (4名の場合)	A代表(40+2名、50+2名)で構成する	※女子は40+を35+と読みかえる
	全日本ベテラン選手権の成績による カテゴリーAの1位、2位の者(辞退者出た場合は3位・・・以下同様) カテゴリーBの1位、2位の者(辞退者出た場合は3位・・・以下同様)	
第2チーム (4名の場合)	B代表(60+2名、70+2名)で構成する	
	全日本ベテラン選手権の成績による カテゴリーCの1位、2位の者(辞退者出た場合は3位・・・以下同様) カテゴリーDの1位、2位の者(辞退者出た場合は3位・・・以下同様)	

2025年からの世界ベテラン選手権団体戦を踏まえ、各カテゴリーの1位、2位を選手とする。

※2025年からの団体戦カテゴリーAは(40+、50+) / カテゴリーBは(60+、70+)の予定

- ③ 辞退者が出た場合は同一カテゴリーから順次繰り上げる。

例) (40+) ⇒ (40+) から繰り上げ。

辞退者多数の場合は、他のカテゴリーからメンバーを選ぶことも可とする。

団体戦の出場辞退が確定しているものは、速やかに届けでるものとする。

以上

§4 参加資格付与の特例（選考会未参加の者に参加資格を付与する特例）

世界ベテラン選手権個人戦の参加枠は各種目 4 名以内であるが、参加権を得た選手が辞退するなどして、最大 4 名の個人戦参加枠を満たしていない場合がある。
 その場合、選考会に出場していない者、本大会の出場を希望する場合、空席の派遣枠内で出場希望を受け付け、参加資格を付与することができる。

- ① 参加枠の空席については特別な告知しない。希望する者は選考会終了後、速やかに申し出ること。
- ② 当該種目に参加枠があることが確定し、当該カテゴリー、当該種目への参加希望を申し出た者がいた場合、その者を対象に生涯スポーツ・ベテラン委員会で審査し、出場権を付与する。
- ③ 出場権取得順位は次の通りとする。

第 1 順位	国内選考会と同等以上と認められる FIE または各国 NFC 公認競技会で相応の上位成績を修めた者 (当該カテゴリー、種目)	i. 対象とする海外の競技会は、前年の世界ベテラン選手権終了後から当該年の国内選考会終了までに行われた競技会 ii. 競技会の詳細および参加種目の成績を添えて、速やかに生涯スポーツ・ベテラン委員会に提出すること iii. 成績は参考とし、同等の希望者が複数いる場合は、委員会において抽選とする。
第 2 順位	(第 1 順位が複数いる場合は、次点順位)	
	参加を希望する者	i. 参加を希望する者は、生涯スポーツ・ベテラン委員会に提出すること ii. 同様の希望者が複数いる場合は、委員会において抽選とする。
上記の順位に従い、出場枠まで参加資格を付与する。 資格を得た者は、国内選考会に出場したものとみなすために、選考会 1 回分の出場費相当を支払うこと		

以上